



『RPAによるシステム連携トレンドのご紹介』 (OCR,ETLツール連携からITガバナンス対応まで)

株式会社イーセクター
営業企画シニアコンサルタント
山田 治典



【はじめに】

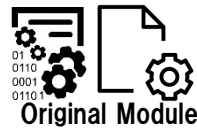
**ソフトウェア開発では
当たり前前のソースコード管理、
セキュリティ管理は
RPA開発でどう変わるのか？**



従来のRPA



現場スタッフ



Original Module



Account (ID/PW)



AD Server



AP Server



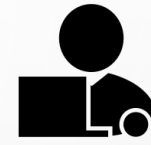
File Server



DB Server

開発型RPA

記録型と開発型のハイブリッド型 RPA ツール



Programmer



QuickROBO
操作記録だけで自動化



ROBOWARE
API でソフトウェアロボット開発
(Ruby, PHP, JAVA, C#)



Source Code



Account (ID/PW)



Source Code



Document Management



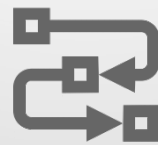
SmartSESAME 「マルチスキャン」
MultiScan!



Security Management



Logstorage
iDoperation SC
tripwire



System Cooperation



DataSpider®



ROBOWARE



ROBOWARE

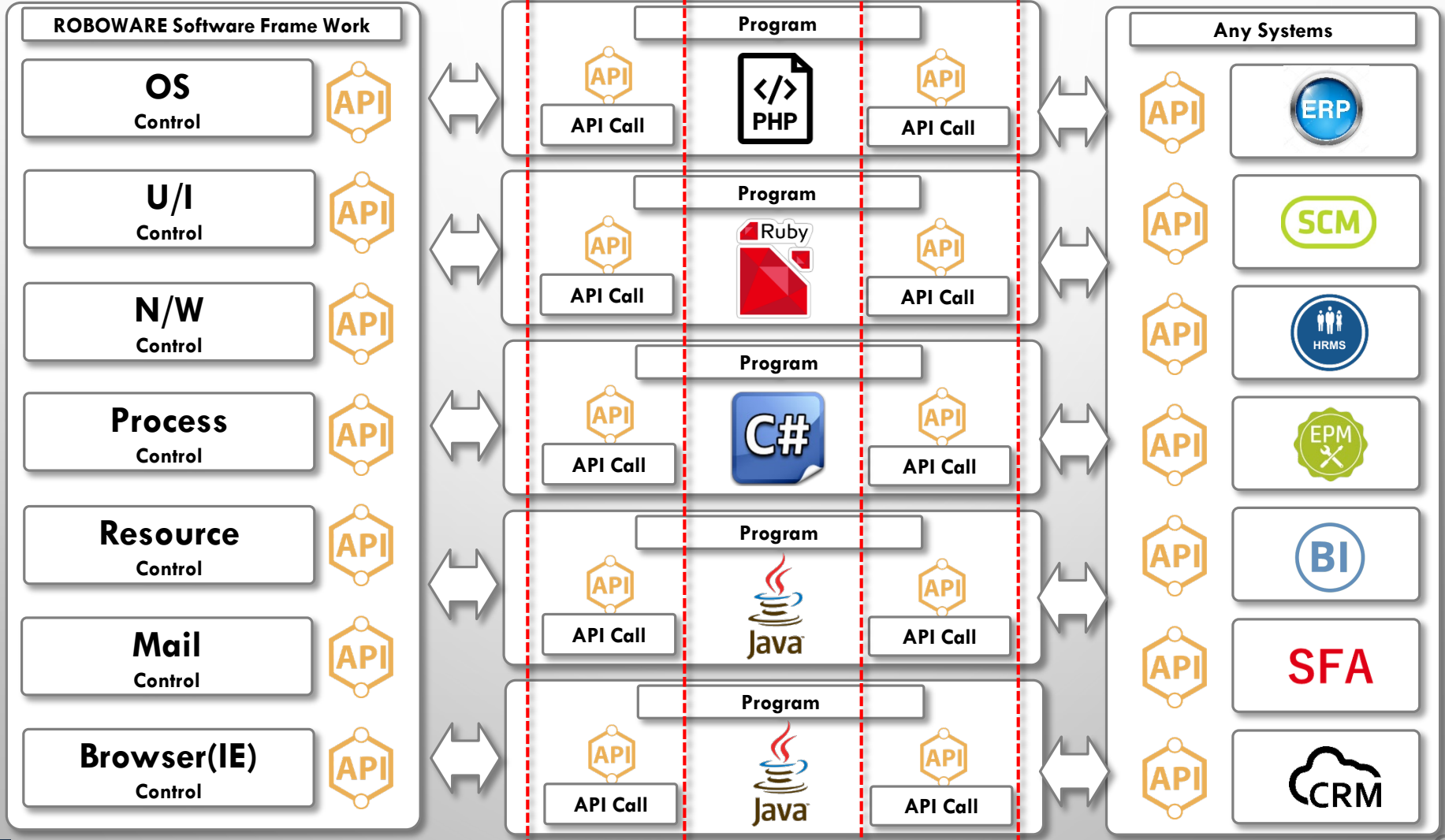
ROBOWAREによるプログラム開発のイメージ



開発不要



開発不要





System Cooperation

×

RPA

[様々なシステムとRPAを組み合わせた
連携ソリューション]

システム連携による業務効率化に必要な、4つの構成要素



【RPA2.0 自動化4つの構成要素】

- ① **RIP** : Robotized Input Process **インพุットプロセスの自動化**
- ② **ADS** : Automated Decision Support **意思決定支援の自動化**
- ③ **ADL** : Automated Data Linkage **データ連携の自動化**
- ④ **ROP** : Robotized Output Process **アウトプットプロセスの自動化**



Progress® Corticon®

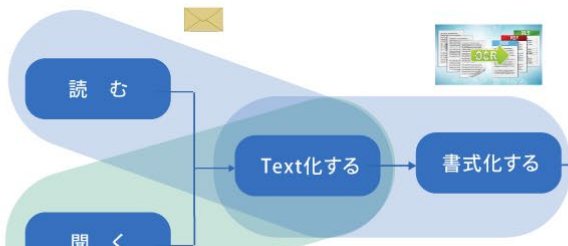
意思決定支援の自動化



SmartSESAME [マルチスキャン]

MultiScan!

インพุットプロセスの自動化

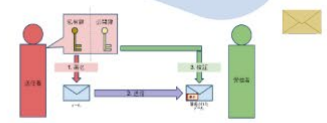
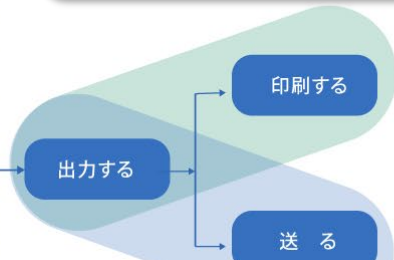


キーボード、マウス
スキャナー
マイク
カメラ
データダウンロード
ファイル読込

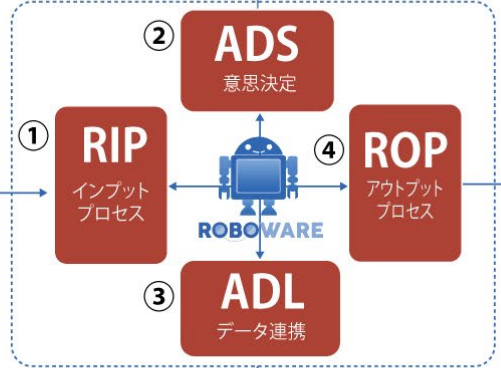


SecurePrint!

アウトプットプロセスの自動化



プリンター
メール
ファイル書込み
アップロード
スピーカー



Dataを
関連付ける

Dataを
情報にする

ETLツール
ERP
CRM
DWH
データ処理アプリ



DataSpider®

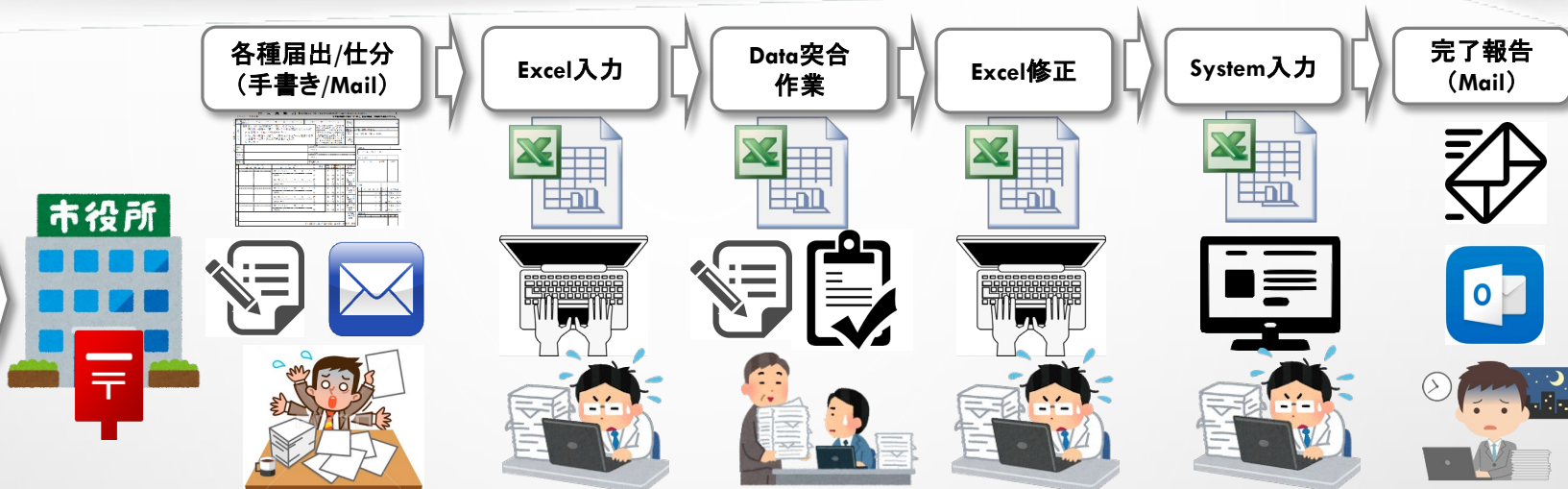
データ連携の自動化

AI-OCR x ETL x RPA

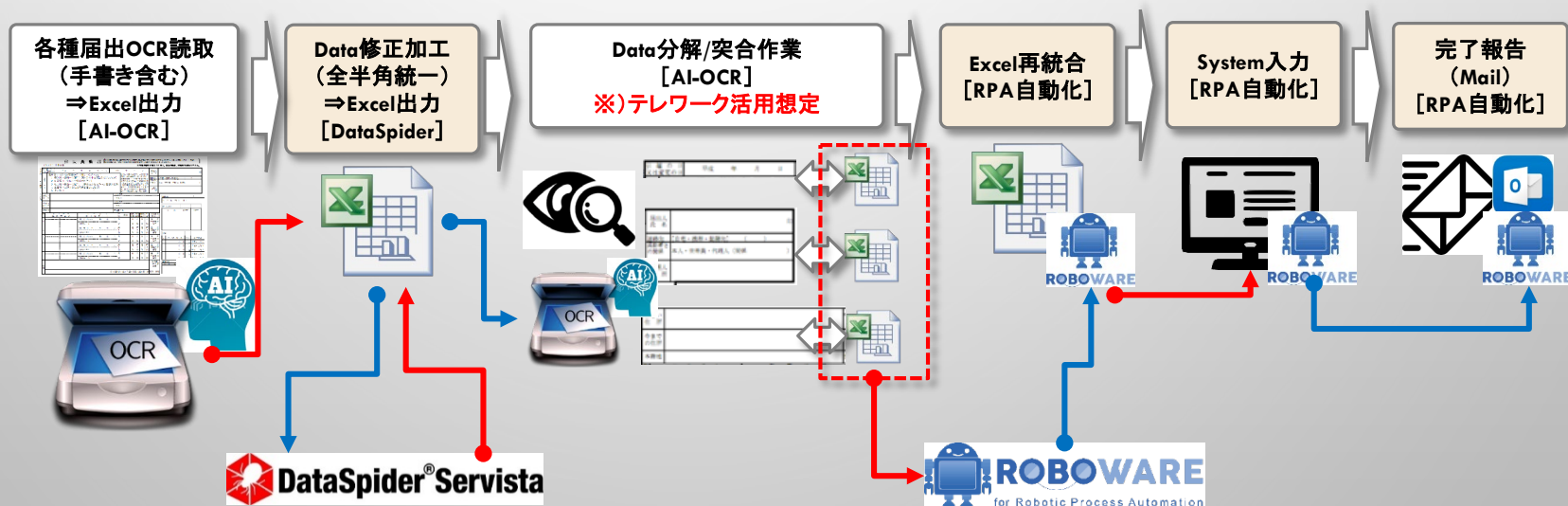
自治体における各種届出仕分 & システム入力業務イメージ



BEFORE



AFTER

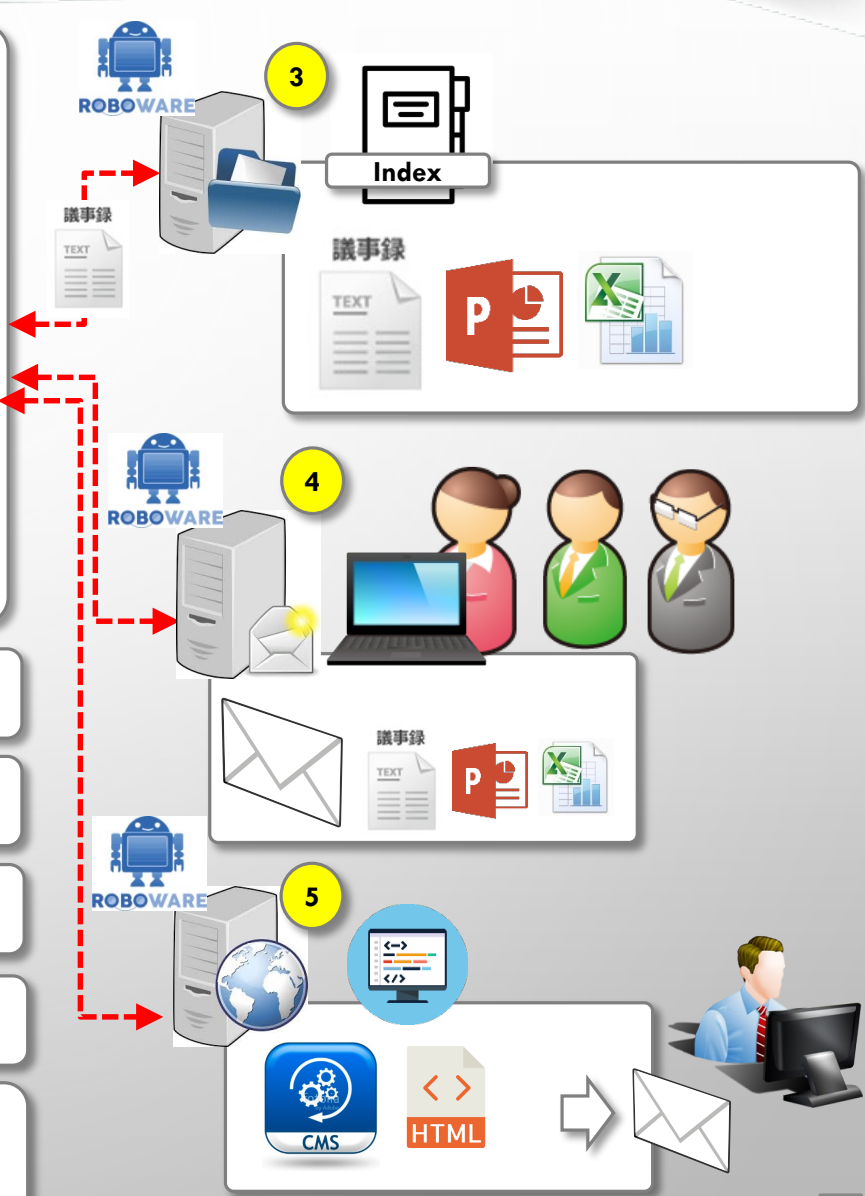


DataSpider® Servista

ROBOWARE
for Robotic Process Automation

VRS (Voice Recognition Software) X RPA

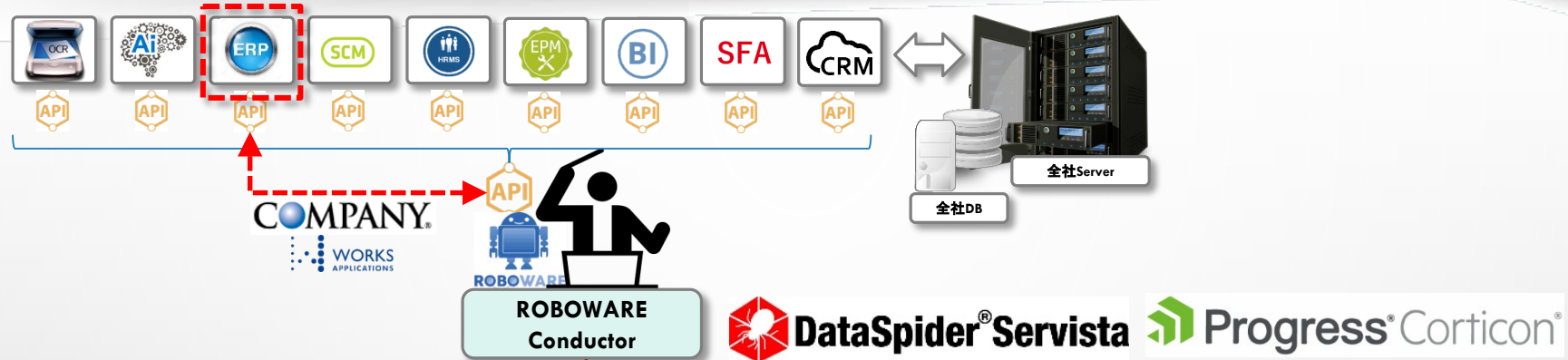
音声認識ツールとの連動イメージ



- 1 “発言者記入”は議事録担当者がRewriterを用いその場で記入
- 2 出力テキストを定型フォームに出力。成形作業はRPA自動化
- 3 議事録、添付資料をファイルサーバーフォルダに自動保管・アーカイブ。同時にIndexを作成作業をRPAで自動化
- 4 議事録、添付資料をメールにて関係者へ配布作業をRPAで自動化
- 5 自治体などの議事録公開ニーズがあるお客様にはWeb (CMS) CMSへの自動ログイン、インポート、公開までをRPAで自動化。作業完了後、担当者に自動メール送付。

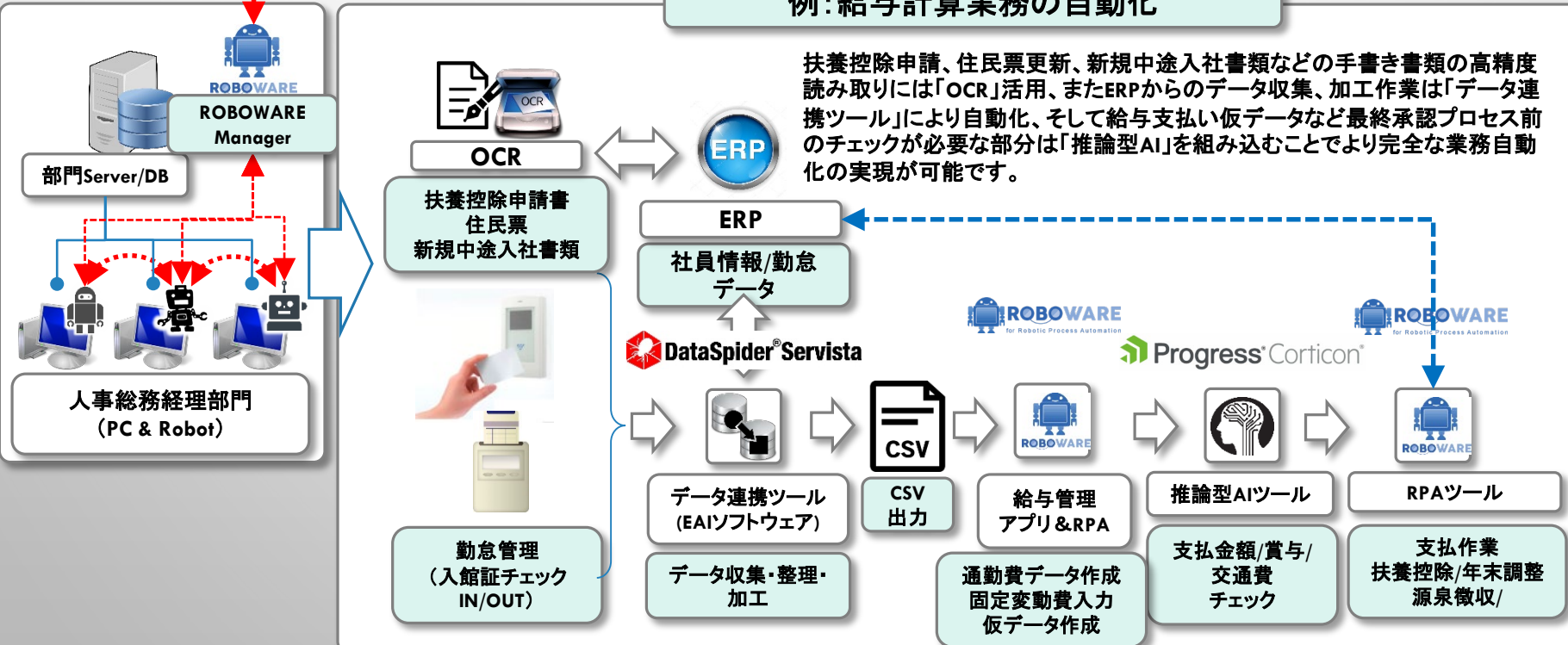
ERP x ETL x AI x RPA

CompanyとのRPAシステム統合イメージ



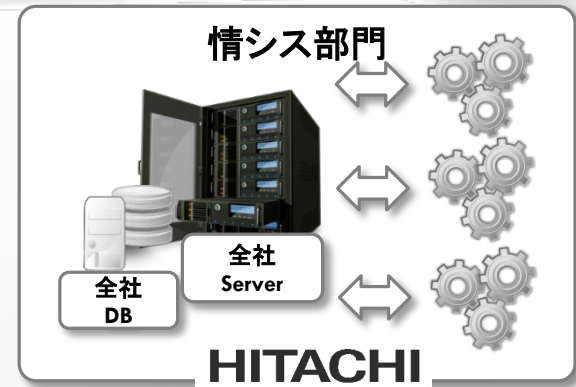
例：給与計算業務の自動化

扶養控除申請、住民票更新、新規中途入社書類などの手書き書類の高精度読み取りには「OCR」活用、またERPからのデータ収集、加工作業は「データ連携ツール」により自動化、そして給与支払い仮データなど最終承認プロセス前のチェックが必要な部分は「推論型AI」を組み込むことでより完全な業務自動化の実現が可能です。



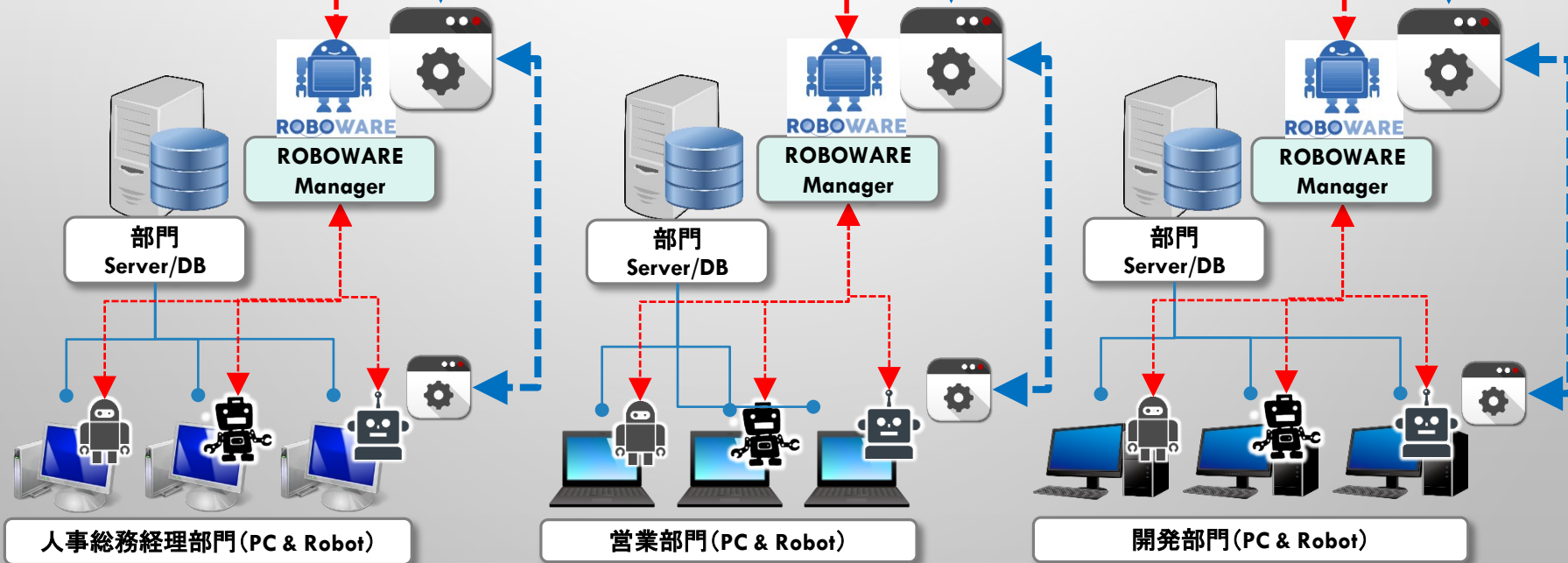
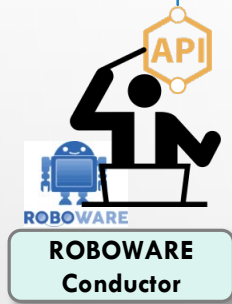
統合システム管理 x Log監視 x RPA

統合IT資産管理ツールJP1とLog監視ツール



HITACHI
Inspire the Next

ROBOWARE JP1





SmartSESAME MultiScan!

×

RPA

[全国330団体以上に導入実績を持つ
SmartSESAME MiltiScan!とRPAを組み合わせた
OCRソリューション]

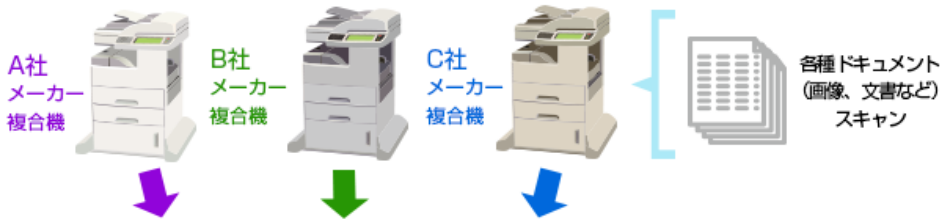
SmartSESAME MultiScan! とは？



特長 1 マルチメーカー対応

● メーカー問わず共通操作、共通設定

マルチスキャンは、複合機のタッチパネル操作方法を共通化。複合機のパネル、パソコンの画面からでも自分専用の設定が可能で、どこでも同じ設定でスキャンができます。



異なるメーカーの複合機でも「共通インターフェースの操作パネル」からスキャンデータを送信



フォルダ送信 (設定画面)

メール送信 (設定画面)

パソコンからでも「自分専用のスキャン設定」ができます。

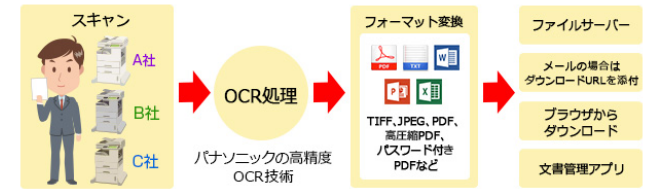
ファイルサーバー、メールサーバー、文書管理アプリなど

※対応機種など詳しい情報については別途ご相談ください。

オプション

● OCR連携

複合機メーカーや機種を意識することなく、簡単な操作で編集可能な電子データに変換します。紙の書類をスキャンと同時にOCR処理されるため、テキストの再利用や任意のキーワードで全文検索 (文中の内容) などに便利です。



- ① スキャンした紙文書などの電子データをOCR処理して指定したパソコンやサーバー上のフォルダに送信
- ② 多彩なフォーマットに対応し、画像データの取り込みやオフィス業務ソフトウェアのフォーマット変換も可能です。

>> OCRについての詳細は、プレスリリースへ

■ 活用シーン

官公庁・自治体 公文書保管 災害バックアップ	製造業 図面・技術文書管理、 品質管理	金融機関 契約書管理、 通達管理など
医療機関 電子カルテ対応、検査・ 医療画像データ	建設業 設計図面、施工管理、 監督官庁提出書類	全業種共通 電子帳簿保存法 (契約書、領収書)

認証印刷とPC認証でオフィスセキュリティを強化する *SmartSESAME*

おかげさまで
**官公庁・自治体への導入数、
 300団体を突破しました!**

特設ページはこちら



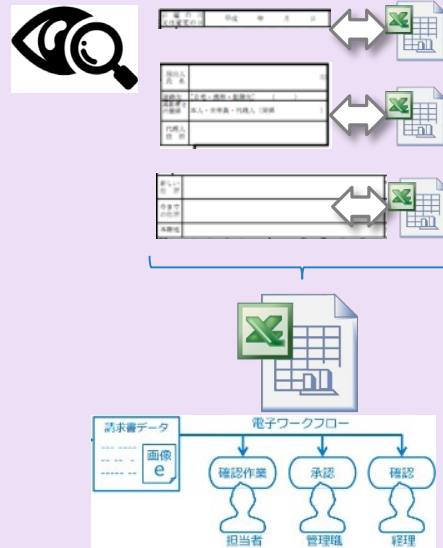
Step.1 : OCR種類 (OCRには得意分野がある)



	定型	非定型
活字		
手書き		
多言語		
サイン 認識		

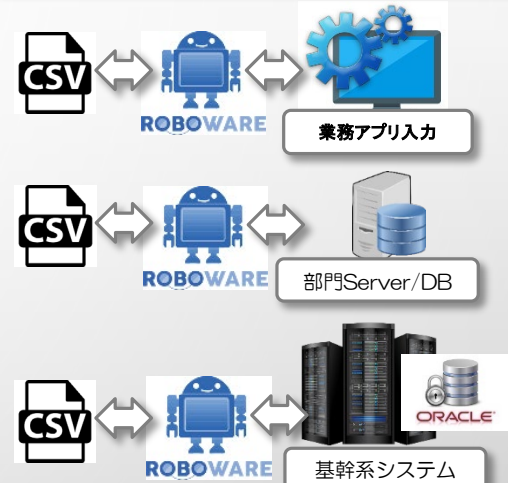
OCR 前処理	OCR 処理	OCR 後処理
帳票分類・仕分け イメージ補正	OCR/ICR データ抽出 複数エンジン / 多言語 / サイン認識	データ生成・実合・ データ補正 (画面)

Step.2 : 突合作業 (Data分解/突合作業/再合成/承認)

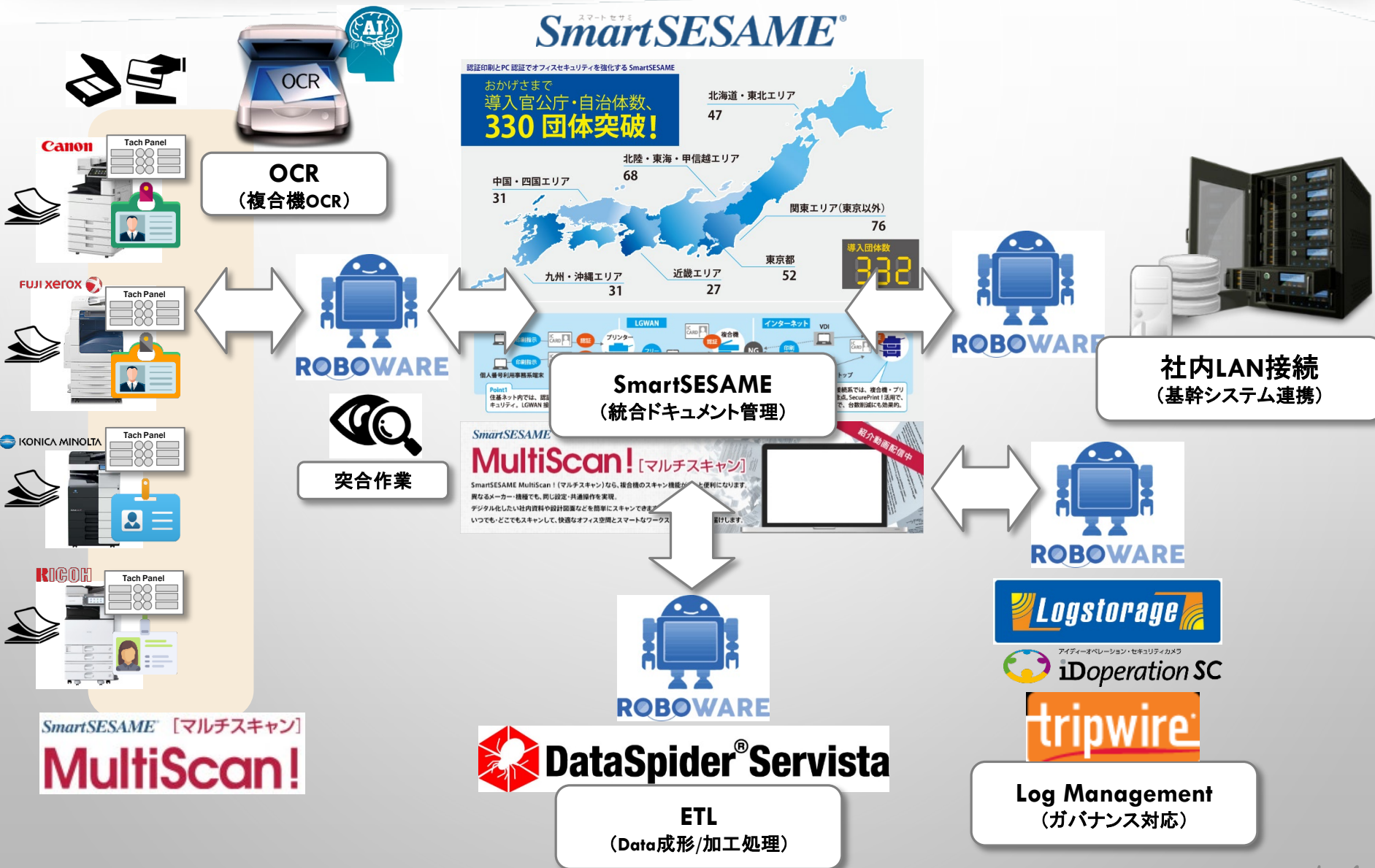


**業務効率化の
最大の
ネックポイント！**

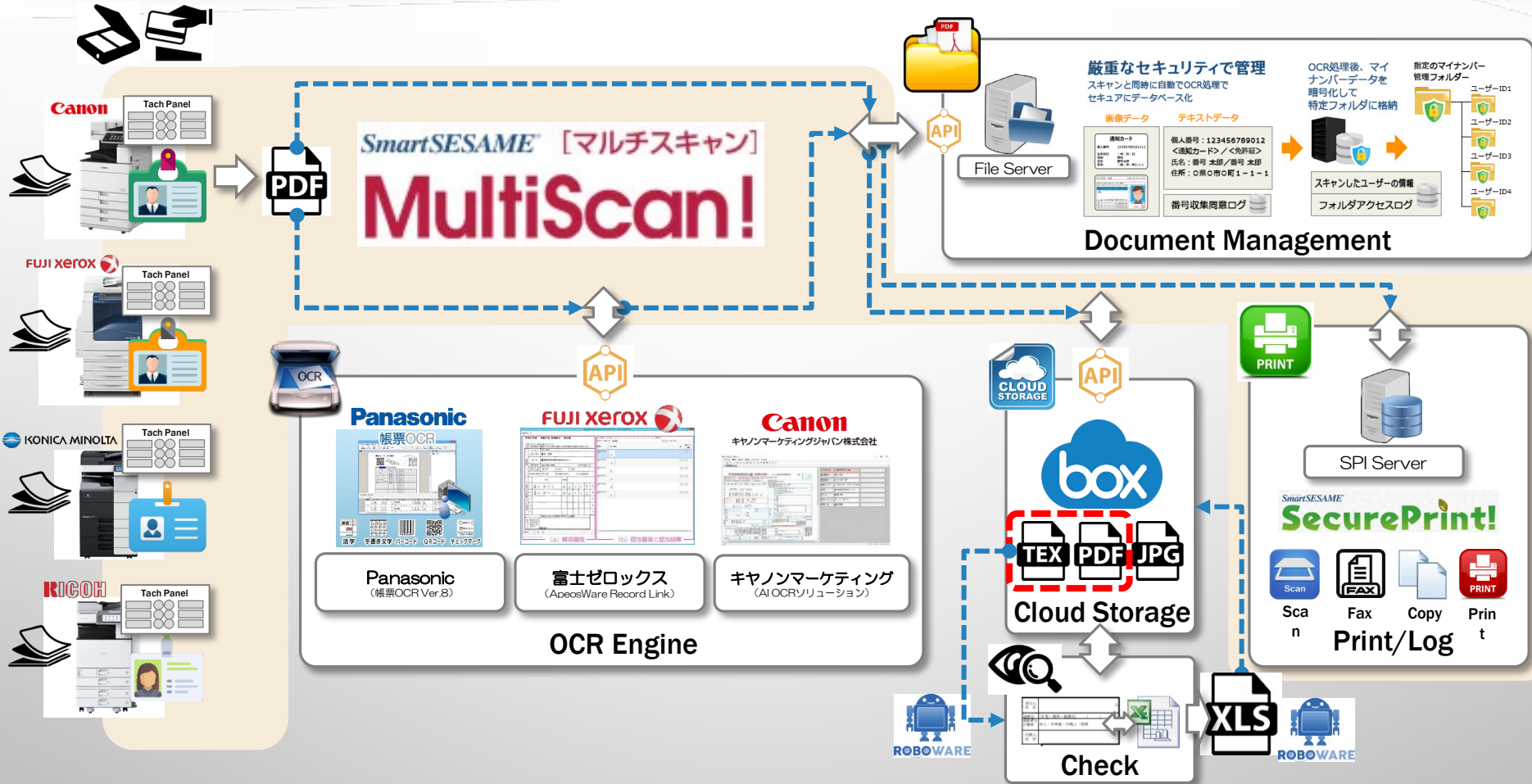
Step.3 : システム連携 (自動入力/システム連携)



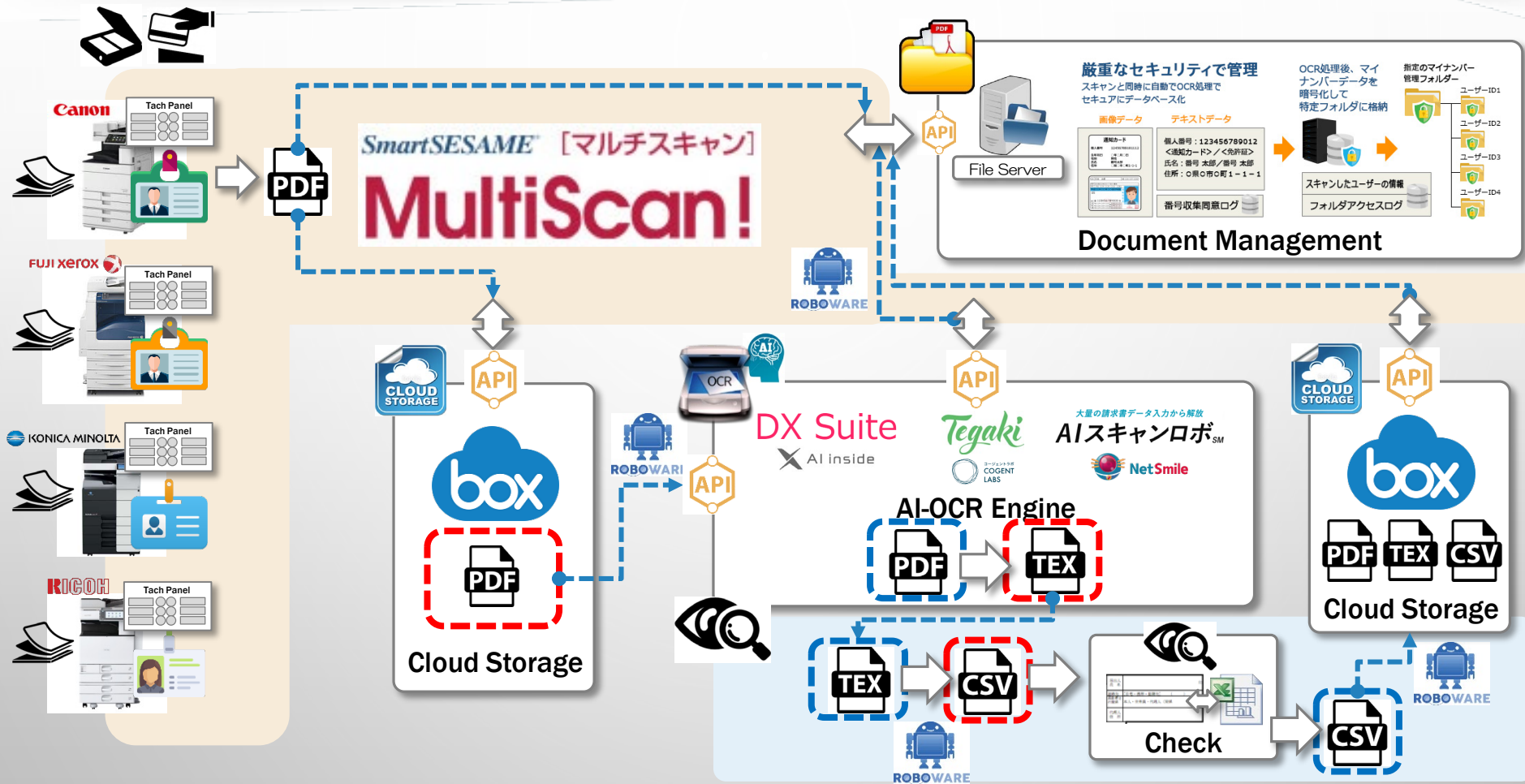
SmartSESAME MultiScan!をフレームとしたシステム連携



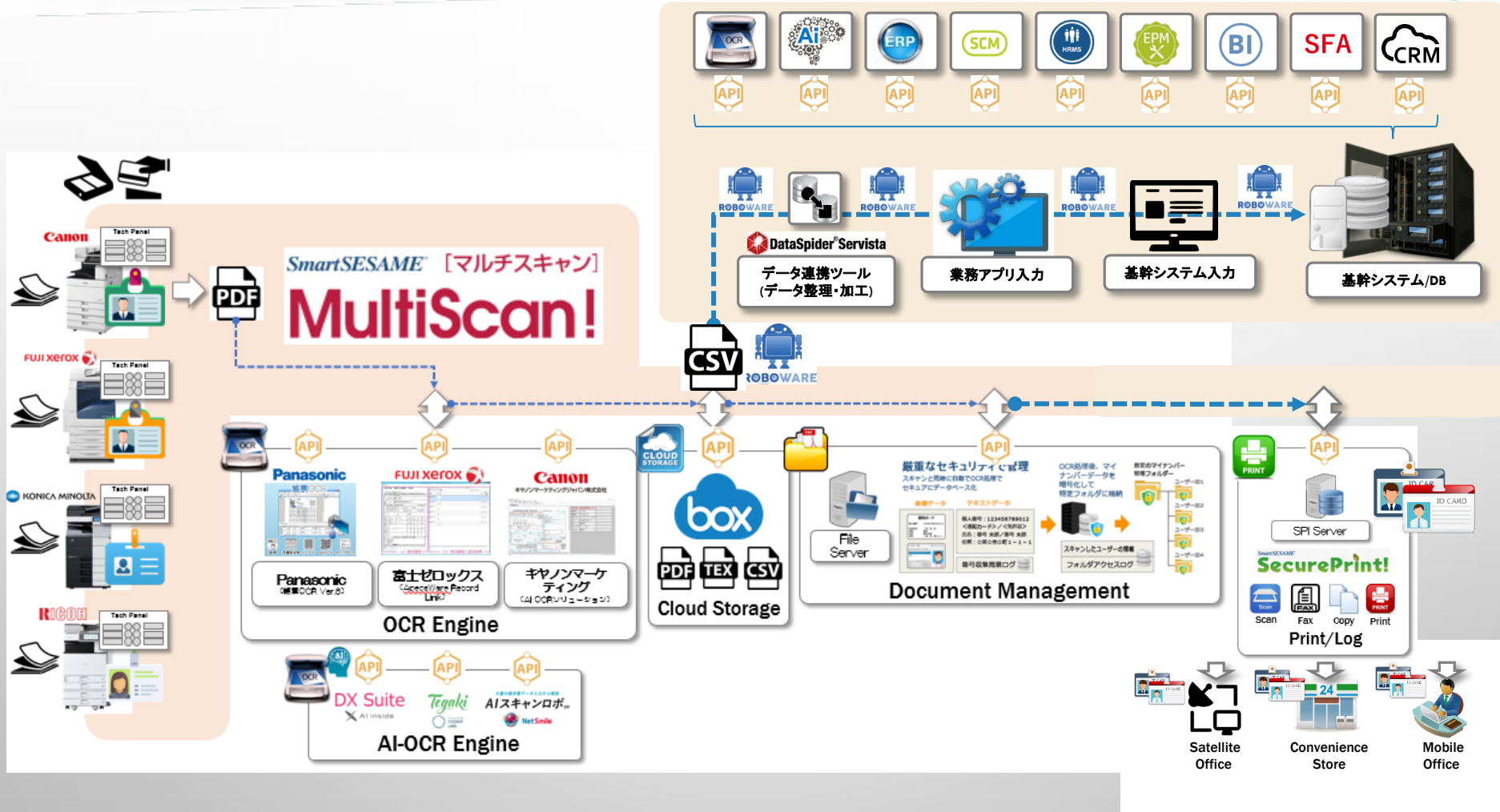
SmartSESAME MultiScan! + OCR + ROBOWARE [OCR + RPA連携]



SmartSESAME MultiScan! + AI-OCR + ROBOWARE [手書き文書AI-OCR + RPA連携]



SmartSESAME MultiScan! + 既存システム + ROBOWARE [システム連携]





Log Solution X RPA

[RPA導入に伴うログ管理の重要性]



監査法人からの指摘ポイント!

- ✓ 特権IDの利用・管理のルールがきちんと策定されているか?
- ✓ 申請と承認に基づいて特権IDが利用されているか?
- ✓ 特権IDのパスワードを定期的に変更しているか?
- ✓ 特権IDのアカウント監査(棚卸)を実施しているか?
- ✓ 特権IDを「いつ・誰が」利用したかが特定可能か?
- ✓ 特権ID利用時の操作制御を実施しているか?
- ✓ 内部統制や監査に必要なログをきちんと取得しているか?
- ✓ 収集したログを活用(定期モニタリング)できているか?



ワークフロー

- ✓ ID登録申請
- ✓ サーバ利用申請



ID管理

- ✓ ユーザ管理
- ✓ アクセス権管理
- ✓ パスワード変更
- ✓ ID棚卸



アクセス制御

- ✓ ユーザへのアクセス権限
- ✓ パスワード隠ぺい



ログ監査

- ✓ ログ統合・保管
- ✓ 利用監査
- ✓ ログの突合せ

RPA製品ではロボットの動作ログを出力している製品もあるものの、ログをクライアントPCで管理する仕様になっているものが多く、このような場合、ログが改竄できる可能性がありコントロールが効いているとは見なせません。

また、ロボット側のログは、ロボットの動作を記録しているだけに過ぎず、ロボットがアクセスした先のアプリケーションやリソースデータが、どうなったか等(例えば、正常処理完了? エラー?)は、当然ですがここには記録されることはありません。

操作する側だけではなく、操作される側のログも含め統合管理することで、インシデント発生時の各マシンを横断した横串し検索が可能となり、これにより**トレーサビリティやモニタリング性の向上**が可能となります。

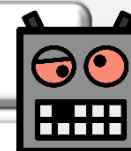


多くの企業で導入が進んでいるソフトウェアロボット(RPA)による業務の自動化は、便利な反面、適正な管理をしなければ多くのリスク要因にもなり兼ねません。

考えられるリスクの例



業務部門の独自ロボ作成による **他システムへの干渉リスク**



管理者不在の野良ロボによる **社内業務の阻害**



ロボット用アカウントへの **攻撃、窃取**



ロボの改ざん(ルールの変更・乗っ取り)



ロボの **動作履歴改ざん**



様々なことが自動で行われる分、**監査・証跡がより重要に！**

ログ取得は必須です！！



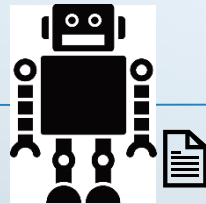
ロボット側 (操作する側)

ロボット管理マネージャ

ロボット動作クライアント



管理画面アクセスログ



ロボ動作ログ

RPA導入前は人手の領域

リソースサーバ・ アプリケーションシステム側 (操作される側)



ADサーバ



DBサーバ



ファイルサーバ



APサーバ

従来より存在する領域



対象	取得ログ	確認すべき結果
管理コンソール	管理画面アクセスログ 改ざん検知ログ	<ul style="list-style-type: none"> 不正アクセスの確認 ルールが修正されていないことの確認
ロボクライアント	ロボット動作ログ 画面動画ログ 改ざん検知ログ	<ul style="list-style-type: none"> 指定されたルール通り処理を行っていることの確認 実際の処理内容の把握 ルールが改ざんされていないことの確認
リソースノード	アクセスログ	<ul style="list-style-type: none"> ルール通りのファイルにアクセスしていることの確認 アクセスが許可されたユーザのみにアクセスしているかの確認 エラーが発生していないかの確認
各マシン共通	OSログインログ	<ul style="list-style-type: none"> 不正なアクセスがないかの確認 ロボアカウントの不正利用の確認

統合ログ管理ツール

開発元: インフォサイエンス(株)



操作録画システム

開発元: NTTテクノクロス(株)



改竄検知、セキュリティ可視化

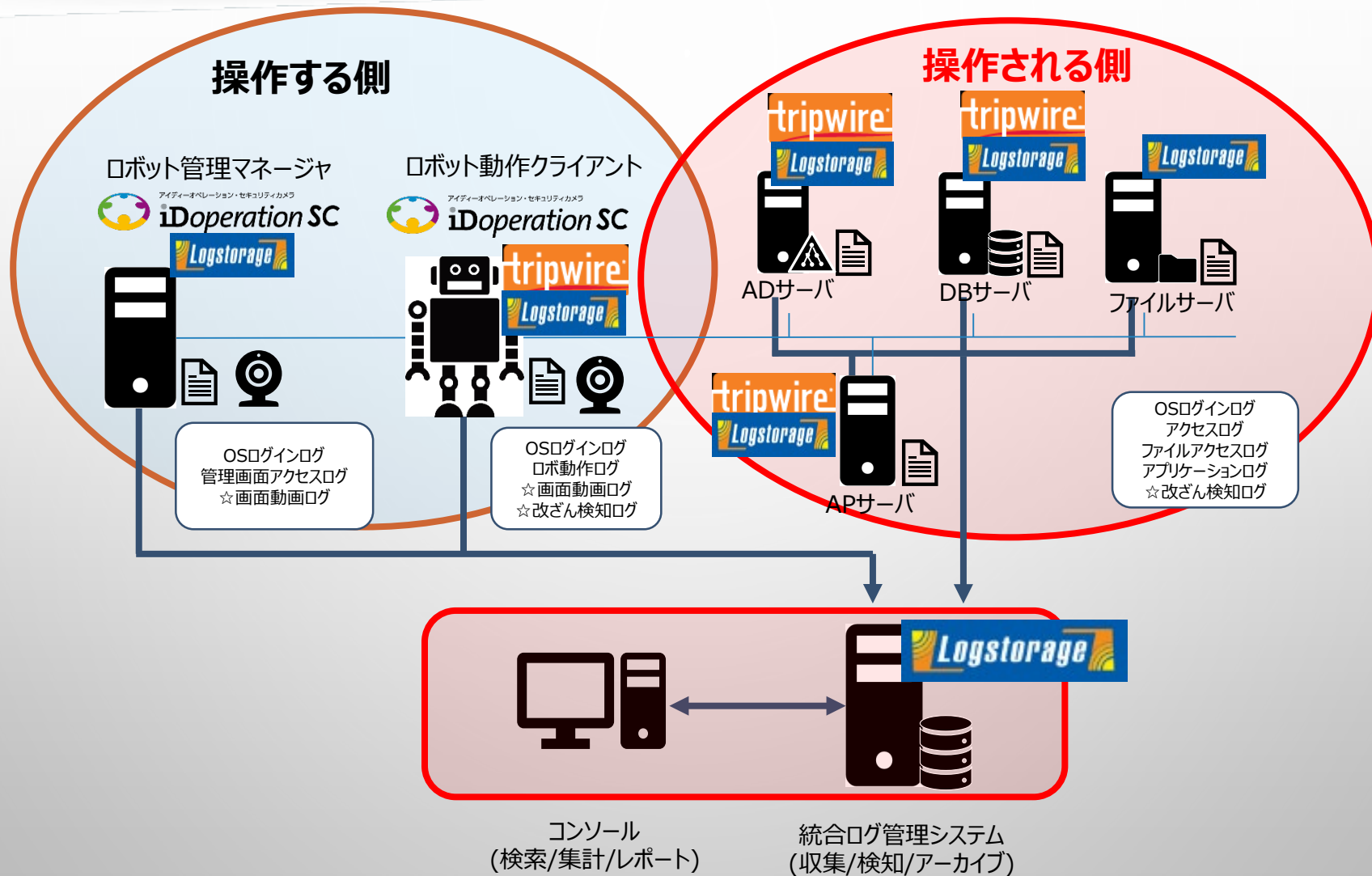
開発元: トリップワイヤ・ジャパン(株)



様々な発生するイベントログを、ユーザ操作と結び付けて解析処理し、人間が見て理解できる形式に変換します。

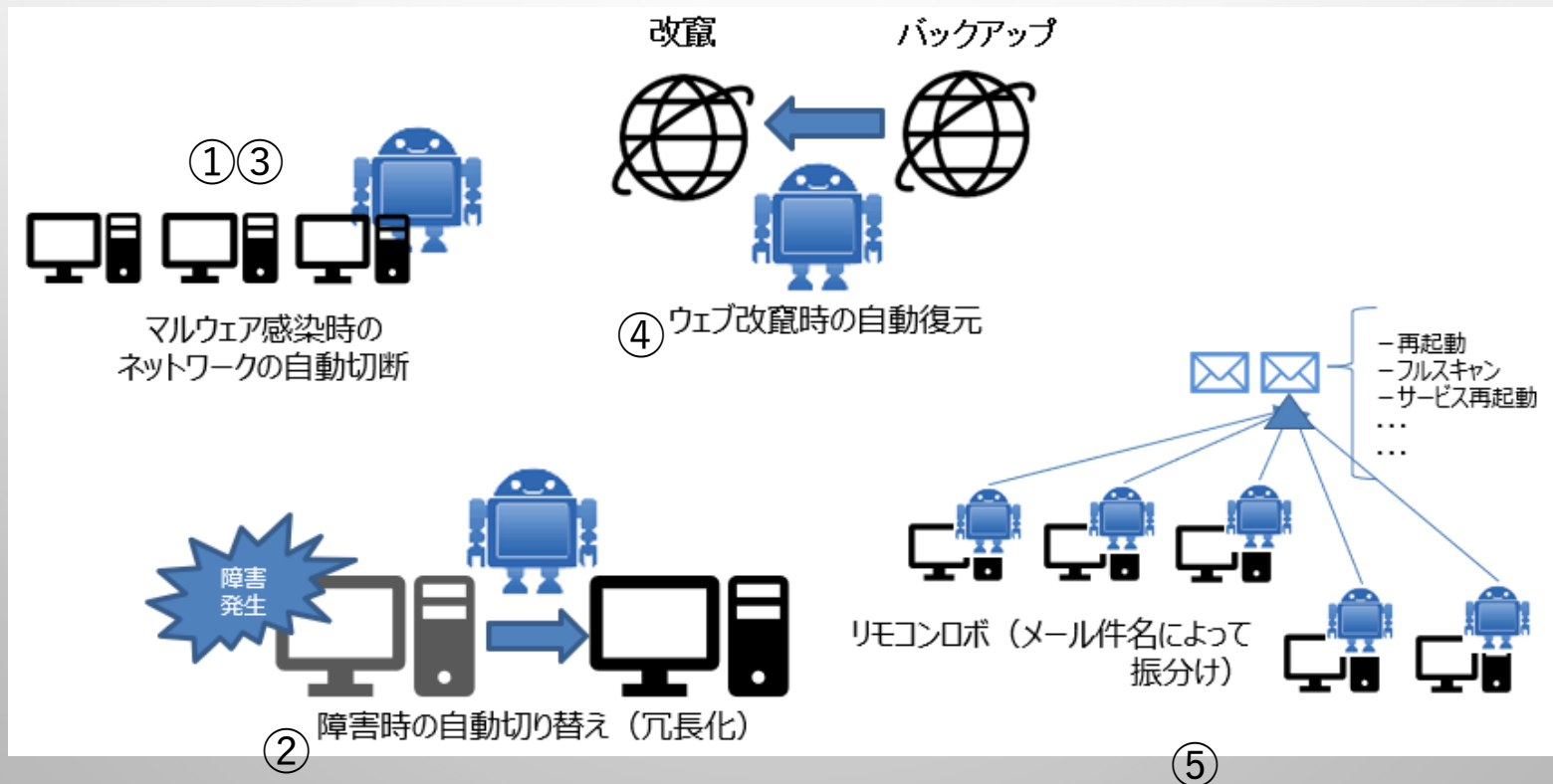
ユーザの行動記録をビデオとして記録するログ監査ツールです。サーバ、デスクトップ内の、ユーザ操作を全てビデオで記録し、証跡として残します。

ファイルシステム、ディレクトリサービス、データベース、ネットワーク機器を監視し、収集した変更データは完全な監査証跡として役立ちます。





No	インシデント例	ロボットで対応出来るような内容
①	サーバのマルウェア感染	ネットワークの自動切断 (NICを無効にする)
②	システム不具合	待機系マシンに自動切換え
③	ウェブサーバへのDDoS攻撃	通信ポートの遮断 (firewalldやiptables等の設定動的変更)
④	ウェブサーバの改竄	ウェブコンテンツの自動リストア
⑤	パッチ適用	適用済みマシンの再起動





インシデント発生に備えるにあたって、ロボットを使用することは、非常に有効です

迅速

インシデント発生時にロボットを使用することで、設定のリストアやネットワークの切断を迅速に実施することができる

正確

決められた処理のみを実施 = 外的要因以外ではオペレーションミスがおこることは無い

24/365

ロボットは疲労しないため、24時間365日動作することが可能となり、深夜に発生したインシデントにも対応することができる



ご参考サイト

参考サイト①：業務プロセス自動化 RPA2.0



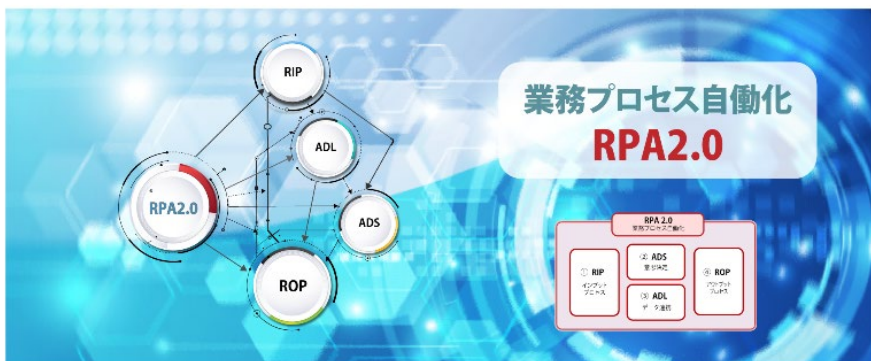
西日本事業グループ サイトマップ アクセスマップ お問い合わせ 検索

株式会社Eセクター

ホーム ソリューション プロダクト① プロダクト② 企業情報 イベント 採用情報

業務プロセス自動化 RPA2.0

ホーム / RPA業務自動化



- ① **RIP** : Robotized Input Process インพุットプロセスの自動化
- ② **ADS** : Automated Decision Support 意思決定支援の自動化
- ③ **ADL** : Automated Data Linkage データ連携の自動化
- ④ **ROP** : Robotized Output Process アウトプットプロセスの自動化

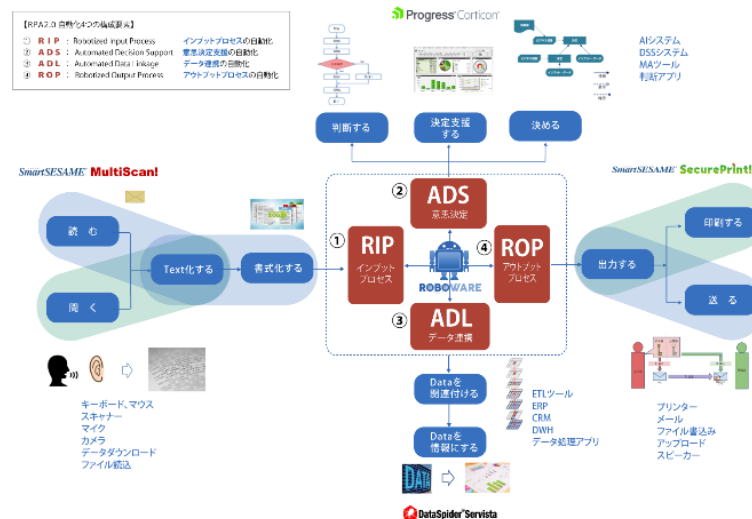
部分的な自動化だけでは満足できない！ RPAは業務全体を自動化する次のステージへ

RPAが目指す業務改革は、ソフトウェアロボットによる業務プロセス全体の自動化（ニンベンの働）です。パターン化できる定型業務の操作手順を自動化するだけではなく、各業務プロセスを連携して自動化できるのが、次世代RPA2.0です。つまり、動かすだけでなくロボットに動かさせるのです。

PC操作の自動化であれば、一般的なRPAツールによって可能になります。しかしながら、それだけでは自動化できるのが作業の一部でしかなく、業務担当者がその業務から完全に開放されるわけではありません。業務すべてを自動化してこそ、業務担当者が単純作業からさらに付加価値の高いポジションへ異動できる活人化が可能になります。活人化は、ロボットが業務を代行する自動化によってのみ実現できます。自動化は、高度な業務知識のある業務担当者がいなくても監視ができ、障害時などに対処できる無人運転を目指した仕組みです。つまり、業務作業の一部の自動化によって省力化をするだけではなく、業務全体を自動化して省人化してこそ、人を活かすRPAの実現が可能になります。

AIやIoTの発達によって、人間にしか無理だと思われていた経験者のノウハウが必要業務についても、判断できるデータを集めることができれば、コンピュータによって自動化できるプロセスが増えてきました。そうした、AIなどを活用した技術や、今までRPAが不得意とされてきた大量データの取り扱いをETLツールなどに任せ、個々に自動化できていたプロセスについてそれらを連携することにより、業務全体の自動化が可能になります。業務の無人運転を目指すRPA2.0では、業務プロセスの連携が大切なポイントになります。

概念図



https://www.esector.co.jp/solution/rpa_index.html

参考サイト② : OCR連携RPAソリューション



西日本事業グループ サイトマップ アクセスマップ お問い合わせ 検索

情報より正確に より安全に
株式会社イーセクター

OCR連携RPAソリューション ホーム / OCR+RPA

OCR連携 RPA ソリューション

SmartSESAME MultiScan! & ROBOWARE
システム連携ソリューション

マルチメーカー対応の複合機スキャンサービス「SmartSESAME MultiScan! (スマートセサミ マルチスキャン)」と開発型RPAツールのROBOWARE (ロボウェア) を利用した、セキュアなOCR読取からドキュメント管理、そしてRPAによるETLツール連携、業務系アプリ連携までのシステム連携ソリューションです。

SmartSESAME MultiScan! & ROBOWARE システム連携ソリューション

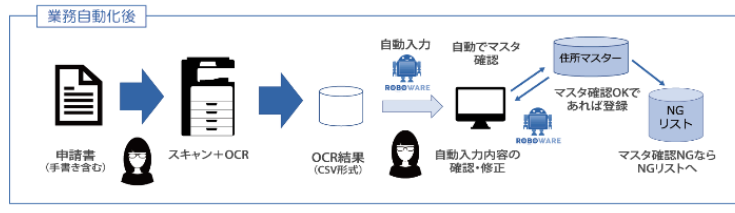
OCR+RPAデモ動画

SmartSESAME MultiScan! &

ROBOWARE



https://www.esector.co.jp/solution/rpas-ol/rpa_ocr.html



https://www.esector.co.jp/solution/rpas-ol/rpa_ocr.html

参考サイト③ : SmartSESAMEオフィスセキュリティソリューション



オフィスセキュリティソリューション
SmartSESAME® English CEC
 ・選ばれる理由 ・お役立ちブログ ・ニュース ・セミナーレポート ・動画コンテンツ

PC セキュリティ プリントセキュリティ 統合ログ管理 マルチスキャン 導入事例 パートナー情報 FAQ 資料請求・お問い合わせ

2018年度版
SmartSESAME® 導入事例集

官公庁・自治体、民間企業の導入数1500団体、
 認証印刷システム売上高シェア1位。
 SmartSESAME®が選ばれる理由と、
 導入後の活用と展望。

PDF フリーダウンロード
 SP! MS! Me PC LG

詳しくはこちら

Printセキュリティ
 ICカードでセキュア＆スマートな紙媒体の読み取り
SecurePrint!

Printセキュリティ
 全国3万台でプリント、いつでも、どこでも仕事ができるワークスタイルを実現
コンビニプリント

マルチスキャン
 マルチメーカー対応スキャン
MultiScan!

SecurePrint! 詳細へ
 コンビニプリント詳細へ
 MultiScan! 詳細へ

統合ログ管理
 複合機のジョブログを収集して一元管理
M's eye [エムズアイ]

PCセキュリティ
 パソコンの不正利用を簡単シャットアウト
「PCログオン」

PCセキュリティ
 覚えられないID・パスワード、ワンストップでログオン認証
「シングルサインオン」

ユーザー管理
 複数システムのID情報を簡単にまとめて統合管理
「iDLinker」

M's eye 詳細へ
 PCログオン詳細へ
 シングルサインオン詳細へ
 iDLinker 詳細へ

トータルセキュリティソリューション
CyberNEXT®

24時間365日のセキュリティ専門チームによる監視体制
CEC SOC

SmartSESAME 最新事例

アイネス 伊通運輸株式会社
 Yashima Next to your future
 NTTコムウェア東日本株式会社

藤沢市 湯沢市 総務省 世田谷区 室蘭市 安曇野

オフィスセキュリティソリューション
SmartSESAME® English CEC
 ・選ばれる理由 ・お役立ちブログ ・ニュース ・セミナーレポート ・動画コンテンツ

PC セキュリティ プリントセキュリティ 統合ログ管理 マルチスキャン 導入事例 パートナー情報 FAQ 資料請求・お問い合わせ

スマートセミトップ > MultiScan! [マルチスキャン]

SmartSESAME®
MultiScan! [マルチスキャン]

SmartSESAME MultiScan! (マルチスキャン)なら、複合機のスキャン機能がもっと便利になります。異なるメーカー・機種でも、同じ設定・共通操作を実現。デジタル化したい社内資料や設計図面などを簡単にスキャンできます。いつでも、どこでもスキャンして、快適なオフィス空間とスマートなワークスタイル環境をお届けします。

紹介動画配信中

MultiScan! [マルチスキャン]

- 特長1 マルチメーカー対応
- 特長2 かんたん活用、利用者にも優しい機能
- 特長3 豊富な連携機能
- オプション OCR連携
- マイナハンバー対応

「マイナハンバー対応サービス」の詳細はこちら スキャンの活用で役立つブログを公開中!

活用シーン

- 官公庁・自治体
公文書保管 災害バックアップ
- 製造業
図面・技術文書管理 品質管理
- 金融機関
契約書管理 運送管理など
- 医療機関
設計図面対応、検査・医療画像データ
- 建設業
設計図面、施工管理 監督官庁提出書類
- 全業種共通
電子帳簿保存法 (契約書、領収書)

資料請求・お問い合わせ
 お電話でのお問い合わせ
0120-057-232
 TEL. 03-5789-2442

活用ポイント

Point 1 契約書・領収書の電子データ化加速！経費精算がスムーズに

Point 2 契約リスクに備えたBCP対策、重要文書の電子データ化

Point 3 “つながる”クラウド、OCR、文書管理との連携

平成27年度税制改正による税務関係書類に係るスキャナー保存制度の要件緩和に伴い、対象書類には「3万円以内」の領収書という金額の基準が引き下げられました。従来、紙での保管が義務付けられていた契約書や領収書などもスキャンして電子データ化できるため、経理処理や経費精算などがスムーズになります。

住民情報、税務書類、診療記録、設計図面などの重要文書を紙で保管していた場合、万が一の震災時、物理的に消失する恐れがあります。e-文書法や関連法令に促して、紙文書の電子データ化を行うメリットは災害への対応だけでなく、紛失や盗難、内部からの持ち出しによる情報漏えいを防ぎ、バックアップ、情報の分散管理などが容易になります。

働く場所や時間にとらわれないワークスタイルを実現する上で、業務に必要な情報を電子データ化して、いつでもどこでも活用できる環境づくりが欠かせません。調達・請求・支払などの各業務で一般的だった紙の懸念が、ワークフロー、文書管理、顧客管理などの業務システムと連携することで、大幅な業務効率化を実現できるようになります。

特長1 マルチメーカー対応

メーカー問わず共通操作、共通設定

マルチスキャンは、複合機のタッチパネル操作方法を共通化。複合機のパネル、パソコンの画面からでも自分専用の設定が可能で、どこでも同じ設定でスキャンができます。

異なるメーカーの複合機でも「共通インターフェースの操作パネル」からスキャンデータを送信

ニュース

- 2018/10/10 八州電機株式会社様の事例を公開しました。
- 2018/08/31 藤沢市役所様の事例を公開しました。
- 2018/07/25 複合機スキャンサービス「MultiScan」が「Box」と連携

https://sesame.cec-ltd.co.jp/

https://sesame.cec-ltd.co.jp/multiscan/index.html



データ連携ツール (EAIソフトウェア)

 **DataSpider® Servista**

異なるシステムのデータやアプリケーションを、
ノンプログラミングでつくらずに「つなく」



<https://www.esector.co.jp/product/dataspider/dataspider.html>

特権ID管理ソリューション



アイディーオペレーション

iDoperation



J-SOX 監査の指摘事項をスピード解決!

<https://www.esector.co.jp/product/idoperation/idoperation.html>

RPA に最適な推論型 AI

 **Progress® Corticon®**

高度な意思決定プロセスを
コーディング不要で自動化



<https://www.esector.co.jp/product/corticon/corticon.html>

統合ログ管理システムの
デファクトスタンダード

統合ログ管理ツール分野 シェア No.1

*ミック経済研究調査



<https://www.esector.co.jp/product/logstorage/logstorage.html>

TRIPWIRE®
ENTERPRISE



コンプライアンスの証明、セキュリティの強化、
確実で効率的な IT システムの運用、という3つの価値を提供します。

<https://www.esector.co.jp/product/tripwire/tripwire.html>

セミナー資料DLサイトのご案内



本日のセミナー資料のDLはこちらから！

https://www.esector.co.jp/archives/event/nas_20190207.html

本日のセミナー資料のDLは、お申込みいただいたセミナー案内ページからDL頂けます。それぞれのセッション欄にDLボタンが添付されますので、こちらからDLしてください。PW等はありません。

株式会社イーセクター

【このセミナーの申込受付は終了いたしました。】

RPA 実証実験から本格導入へのステップアップ実践セミナー
投資効果測定からシステム構築、IT ガバナンス対応まで

日時：2019年2月7日（木）13:30～17:00 会場：イーセクター 本社・セミナールーム

RPA実証実験から本格導入へのステップアップ実践セミナー

「働き方改革」の実現方法として「デジタルレイバー（RPA）」のトピックが出ない日はないほどですが、単体のPC作業の自動化を越えてデータ連携から業務アプリへの自動化まで、RPA導入の課題が山積みになってきています。業務全体の効率化を達成できないことにより多くの企業経営者が気が焦り始めているのも事実です。RPAへの取り組みは「現場主導からIT主導」へと大きく舵を切り始めたのです。

本セミナーでは、現場主導で本格的RPA導入を進められる企業向けに、様々な部門でRPA化された業務のご紹介や、現場実証実験RPAで果たした投資効果に即応する効果測定と課題の解決、更に、RPAによるシステム連携トレンド、ITガバナンスの観点から見たロボット管理方法など、経営部門に必要なとされる様々な情報をご提供します。

■RPA実証実験から本格導入へのステップアップ実践セミナーの具体的な情報提供
①現場部門にRPA化可能な業務とは何なのか？
→現場調査の様々な業務別、部門別、RPA化された業務内容を現場者に配布！
②現場主導で導入された超実践RPAで、どれほどの業務効率化が計れたのか？
→RPA導入前後の業務プロセスの変化と効率化をRPAを用いて測定！
③現場ニーズから見るシステム連携のトレンドとは？
→OCR連携、ETL連携、ITガバナンスの観点からロボット管理、Security管理までご紹介！

開催日時	2019年2月7日（木） 13:30～17:00（受付開始 13:00）
参加費	無料
定員	50名（60名申込可）
対象	経営者、IT企画、情報システム部、IT総務課、部門の方
関連製品	ROBOWARE（開発型RPAツール） Doiシヨアル（BPTソリューション） DataSpider Servista（ETLツール） OCR製品 SmartSESAME MultiScan!（統合ドキュメント管理システム） Logstorage（統合ログ管理システム） 他
主催	株式会社日経総合システム
協賛	株式会社イーセクター

プログラム内容

①「部門別にRPA化可能な業務とRPA化事例のご紹介」（業務別、部門別のRPA活用業務調査報告）
株式会社イーセクター 事業企画顧問 橋本 裕男
RPA導入のRPA化可能な業務の多くは「現場にRPA化可能な業務フローが解からない」という課題を抱えています。この課題を解決するために、膨大な現場調査から業務別、部門別のRPAニーズを一元化しました。実証実験の参考資料として提供するとともに業務のRPA化ポイントをご紹介します！

②「RPA投資効果の測定と改善計画のご提案」（BPTソリューションによるRPA前後の業務効率化調査）
株式会社日経総合システム ソリューション事業本部 開発グループ 野村 裕利
現場主導で実証実験を繰り返したこの1年、本場にて実施されるほどの業務効率化、コスト削減は実現したのか？現場実証を可視化する「Doiシヨアル」による効果測定サービスを特別キャンペーン価格でご提供します！

③「RPAによるシステム連携トレンドのご紹介」（OCR、ETLツール連携からITガバナンス対応まで）
株式会社イーセクター 事業企画シニアコンサルタント 山田 典典
CEC社が得意な導入業務を持つ、マルチメーカー対応の統合ドキュメントサービス（SmartSESAME MultiScan!）と「スマートサマニリスキャン」によるセキュアなOCR連携からドキュメント管理、またRPAによるETLツール連携。

DLサイト公開
2019年02月07日PMより

